

脳梗塞で入院する患者さんの入院期間に関する調査についてのお知らせ

脳梗塞は突然発症し、体に何らかの機能障害を残すことのある病気です。そのため入院される患者様は不安が多いことと思います。そこで当院では入院から退院まで一貫した治療過程がわかる計画書(クリニカルパスといいます)を作成し、使用しています。このクリニカルパスは患者様に入院中の経過や治療内容がわかりやすく、安心して質の高い医療を受けられるためのスケジュール表として、私たち医療者は医療の質と安全の向上を図るための指標として活用しています。

この度、小倉記念病院脳卒中専門病棟では、このクリニカルパスの質の向上を図り、患者様には更に安全な医療を受けていただけるよう改定を行うことになりました。特に、入院から退院までの在院日数が、入院時の状態や家族背景、既往症などに関連があるのかについて、過去の診療録を振り返り調べることにしました。この調査により、より安全な治療提供ができるよう検討するために役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2015年8月から2016年2月の間に脳卒中でSCU・総合6階に入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、在院日数や生活背景、既往歴などについて情報から入院期間との関連を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

総合6階病棟 看護師 山路 友理

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

